
明日の聖戦 ~ 英雄と呼ばれた男 ~

エリカの花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

明日の聖戦 ～英雄と呼ばれた男～

【Nコード】

N2869Z

【作者名】

エリカの花

【あらすじ】

強大なカリスマ性を持つ総帥ベア・バレー率いる軍勢は明日の決戦に向けて最強の軍備を整えていた。

彼らの言う明日の聖戦とは何か。

果たしてその聖戦に勝利出来るのであろうか。

彼らの命運は総帥ベア・バレーに委ねられたのであった。

「ベア・バレー総帥、遂に明日ですな」

変わった黒い眼鏡を掛けた男、イシーム將軍が笑みを浮かべながら近付いてくる。彼は私の唯一無二の友人であり、共に数々の歴戦を共にした戦友である。

「これまでの日々、長かった……」

私は涙をぐつとこらえながらも、波のように押し寄せて来る喜びに浸っていた。それほどまでに我が軍は明日という日に向けて恐怖し、期待を寄せていたのだ。明日の決戦に向けて。

これまで我が軍は明日に向けて軍備を整えていた。

鬼神にも劣らぬ戦力を有する歩兵。千の敵を撃ち落とす戦闘機。

大艦巨砲主義を極め抜いた戦艦。

我が軍勢が負けることなど、万に一つも無い。

「さあ、明日に向けて休養を整えよ！ 明日の朝は早いぞ！」

私はイシーム將軍を始めとする戦友達に休養の声を掛ける。明日のために体を駄目にしてはならないからだ。

「はっ！ では我々はこれにて！」

古今無双の將軍達が敬礼をし、その場を退出していった。

「ふふっ、待っている。明日の決戦、必ずや勝利してみせよう。」

勝利は我々の為だけにあるのだから！」

明日の決戦、激戦になるのは間違いないだろう。しかし、我々の勝利は間違いなかった。

遂に決戦の時が来た！

「全軍！ 勝利は我々の物である！ いざ突撃！」

『うおおおおおおおおおおお！』

陣に構えた私の一声で軍勢は進み征く。3つの精鋭部隊を3人の選ばれし将軍が指揮をする。

我が軍に、負けは無し!!

「戦況を報告!」

「はっ!」

声をあらげる私の一声にたじろぎながらもイシムは応答する。

「フィギュア歩兵師団、同人誌戦闘空挺団、同人ゲーム連合艦隊!

全て完売! 我が軍の勝利です!!」

「よおおおおおおおおおおおおおおおおおおおしいっ!!」

私は喜びにのあまりに叫んだ。遂に勝利を掴んだ。その喜びはこれまでに噛み締めた事は無い!

やはり同人サークル「ヴィクトリア・ベア・バレー」に負けなど無かった!

ベア・バレー総帥こと、熊谷真一はその後。コミケの英雄としてオタク達から崇められ、軍神として祀られるのであった。

(後書き)

どうも、処女作になります、「エリカの花」です。

コメディーでございます。

寒い、ですかね？

意外性なんて気にせずプロットにづらづら書き綴ったのを作品にしてみました。

つまらない？ ごめんなさいw

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2869z/>

明日の聖戦 ~ 英雄と呼ばれた男 ~

2011年12月10日02時49分発行